



## 「大きな石を指先で動かす」

理事長

片山和郎

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、新潟県税理士協同組合事業に格別なるご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

本年も、組合員・賛助会員皆様方の負託に応えるべく、協同組合法の基本理念に則り、役職員一同業務に邁進いたしたいと思っておりますので何卒宜しくお願い申し上げます。

昨年暮れに、地区の公民館活動の一環として、長岡市にある河井継之助（つぎのすけ又はつぐのすけとも言う）資料館を訪ねることとなりました。地元でもあり、いつでも行けると思っていたため、つい行きそびれていたというのが現実です。社会に出た時に司馬遼太郎著「峠」を始め「会津土魂」など貪るように乱読し、彼に関する書が蘇ってきました。

現在はトンネル工事がされており、三条市(旧下田村)から会津に抜ける道として、有名になってきた「八十里越」を、40年前に獣道を掻き分け「腰抜け武士が越す峠」と越後の国を見納めた際に辞世の句を詠んだ場所に一人訪ね行き、何とも言えぬ靈氣を感じたことなどを思い出されました。

地元では米百俵の小林虎三郎が有名で、長岡市内の人々には、官軍に従順せず、戦争に進み、町中を戦火に陥れた張本人として一部では評判がよくないとも言われている彼の河井継之助に何を感じるんだろう、何を思うんだろう、と問い掛けています。

江戸から明治へと変わろうとした境い目の峠を通り抜け、先進国の西洋に追い付かなければならない焦燥感と使命感に、命をかけてガムシヤラに突き進んだ20才代30才代の生きざまに共感するのでしょうか。

河井継之助のみならず、人を引き付けるリー

ダーの素養とは何か？と言われてたら、言い尽くせない程意見が分かれると思いますが、色々な言葉を集約して表現すると結局は「人間力」に落ち着くのではないかと思います。人を引き付ける精神力、言葉力、実際に行っている行動力、持っている知識力、風貌など全てが交じり合って「豊かな人間力」に現れるものだと思います。それらは生まれつき持っている人もいれば、努力して行くうちに備わってくる＝生きざまの中で培われる人もあります。

その、活きた生きざまをどのように身に着けるのかについては次のような言葉があります。「どのように大きな石も動き始めたら指先でも動かせる」。どんなに重くて大きくて動かすことは無理とわかっている石でも、グラッときたら指先でもひっくり返せる。グラッとさせるまでの工夫や努力が大切である。そこに到達するまでが大切であり、その過程が人間力を育てると言われています。

混沌とした社会と将来展望が見いだせない時代となっても、その原因を他にだけ求めるのではなく、自らの確固たる想いで切り開く強い意志を持ち合わせていかなければならない一年したいと思います。

平成28年に予定しています、新潟県税理士協同組合創立50周年記念に向け、力強く組織を発展強化したいと思っておりますので、皆様方一人一人の力を結集していただきたく宜しくお願い申し上げます。

そのことが、社会への存在意義であり、また自らの生業としての税理士業を発展させる礎となることを信じて止みません。

本年が皆様方にとって幸多き年でありますことをご祈念申し上げ新年の挨拶といたします。